

かわたな民報

第127号
2010年2月

日本共産党川棚支部

町議会議員 久保田かずえ

電話(八三)一三九八



乳幼児医療費助成の現物給付を

久保田かずえ町議が十二月議会で一般質問

二〇〇九年十二月町議会の一般質問で久保田かずえ町議は子育て支援・乳幼児医療費助成の現物給付などについて質問しました。

久保田かずえ町議

長崎県内の自治体において子ども医療費助成を子育て支援の柱にするところが増えてきた。九州で見ると今でも償還払い方式をとっている県は、長崎県と沖縄県だけとなった。

日本共産党長崎県委員会が行った政府交渉の中で、全国一八〇〇自治体の七割、一三〇〇自治体で



れるまで待ちたい。そう遠くないうちに決まると受け止めている。

久保田かずえ町議

川棚町は住まい理想の町を目指している。子どもたちにとってもお母さんにとってもいかに住みよい町が選択すると思う。

八〇〇円あれば安心して診てもらえる。よそと足並みを揃えるところではない。早期の検討をする考えはないか。

町長

県下で統一して実施しようという方向になってきている。川棚町が先駆けてやるという考えはない。

人に優しい環境づくりについて

久保田かずえ町議

町内の高齢者の方などが通院、買い物等で移動する場合、歩行途中の休憩場がない。

町民の声として腰掛けなどの設置の要望があるが町として対応策を考えられないか。

町長

道路沿いに椅子等設置する場合、道路の外側に敷きや、歩道の外側等場所的に休憩スポット等を使用しなければならぬ。



現在の歩道部には歩行者等が通行空間の確保が出来て、自転車や車椅子利用者が無理なくすれ違えることができ、また安全上支障がない所には設置出来ると思われるが、現在、町内の歩道・歩道部には余裕のあるところは無く、椅子等の設置は出来ないと考える。

現在の歩道部には歩行者等が通行空間の確保が出来て、自転車や車椅子利用者が無理なくすれ違えることができ、また安全上支障がない所には設置出来ると思われるが、現在、町内の歩道・歩道部には余裕のあるところは無く、椅子等の設置は出来ないと考える。

町長

東彼三町でヒブワクチンの接種状況は、今年の一月から十一月まで延べ三十五人(実人員で二十人前後)と聞いている。

久保田かずえ町議

十七年十二月定例議会の一般質問に対して設置できる適当な場所があつたら検討したいと考えている、と答弁されている。調査・検討されたのか。

建設課長

調査した。現在余裕のあるところはない。

ヒブワクチンの予防接種化を

久保田かずえ町議

ヒブ(Hib、インフルエンザ菌b型)とは細菌で髄膜炎・肺炎・咽頭蓋炎・敗血症など重篤な全身性疾患を引き起こす。なかでもインフルエンザ菌b型による細菌性髄膜炎は0歳から一歳の子どもに多く発症するとされており早期発見が大変難しい。

日本は定期接種に位置付けておらず「任意接種」となっている。費用は四回の接種で約三万円と高額。接種化で国に要請する。または、助成する考えはないか。

町長

川棚町についても総合的に判断して助成する考えはない。

久保田かずえ町議

社保協の自治体に対するアンケートでは七つの自治体が今後検討するとしている。

早目の検討をお願いしたい。

就学助成の拡充について

久保田かずえ町議

就学助成制度は「義務教育無償」とした憲法二六条「すべての国民は法律の定めるところにより、その能力に応じてひとしく教育を受ける権利を有する」などの関係法に基づき、小中学生の子どものいる家庭に学用品・入学準備金・給食費・医療費などを助成する制度です。

本町の就学助成費の中でも医療費は、学用品、給食費の交付状況と比較すると十六%程度となっている。疾病の中身が限定されているからと考える。

教育長

本町の就学援助制度については、国の法令に定められた基準を基にして実施している。

町が単独で助成することは考えていない。

久保田かずえ町議

日本の貧困は生まれた時から七人に一人が貧困家庭に生まれていると言われている。就学援助の対象となる小・中学生は、

この十年間で約七十八万四千人

から約百四十二万一千人と約1.8倍に増えたとある。片親世帯の二世帯に一世帯が貧困家庭です。

医療費助成のなかに視力の低下の子どもにも是非眼鏡を加えてほしい。

教育長

他でそういう処があるならどういう形で補助がなされているのか、それが単独なのか研究してみたい。

久保田かずえ町議

視力が落ちると黒板の字が見えない。本が読みづらい。学習に集中力が欠ける。よそでそういう取り組みをしている処があるので、是非研究をお願いしたい。

就学助成の

お知らせ方法について

久保田かずえ町議

長崎市のホームページを開くと就学助成のお知らせが詳しく分かりやすく掲載されている。本町も是非長崎市のような方法を研究・検討する考えはないか。

教育長

各家庭の配布チラシや申請書には詳しく掲載されている。

ホームページには、分かりやすく簡潔に掲載されているが、詳しく知りたい方への連絡方法も掲載しており、現在のところ変更する考えはない

久保田かずえ町議

本町の就学助成希望申し出は、二十一年度分は二月二十七日となっている。社会状況がこんな苦しい状況の中では、いつでも受け付けを出来るようにすべき。

教育長

年度途中でも受け付けをしている。申請に来られるとその都度受け付けをして、審査して早目に認定する手続きをしている。

久保田かずえ町議

子ども権利条約が国連で採択されて二十年になる。

条約第二条差別の禁止、第三条子どもに関するすべての措置については、子どもの最善の利益が第一義的に考慮されるとある。教育の格差・健康の格差・情報

の格差がないよう今後も努めてほしい。

公共施設のトイレにエアータオルの設置をと、質問しました。

町長

現在、インフルエンザ防止対策は「うがい・手洗い・マスクの着用等」を促している。役場や教育委員会など主要なところには消毒液を設置している。手洗い乾燥器の設置は考えていない。

就学助成制度の活用を

だれでも活用できます

就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法26条などの関係法に基づいて、小中学生のいる家庭に学用品費や入学準備金（新入学児童生徒学用品など）、給食費、医療費などを補助する制度で、だれでも活用できます。

この制度は2004年度まで市区町村が実施するときにその費用の半額を国が補助するしくみになっていましたが、2005年度から、小泉内閣の「三位一体改革」の強行で、就学援助に対する国の補助金が大幅に削

減されました。

必要な方は、まず申請をしてみる事です。

一般質問をした

議員は、三人

12月議会で一般質問をした議員は、16人中3人でした。

議員の「質問とは（一般質問と緊急質問）、町村の行財政全般にわたって、執行機関に対し、説明を求め又は所信ををただすことであつて、議員の固有の権能として許されるものである」と「議員必携」に書かれています。

議会で一般質問をして、議会に町民の声と願いを届けることは、議員の一番の役目ではないでしょうか。

日本共産党の久保田かずえ町議

は毎議会、一般質問を行うことを公約にかかげ、それを実行してきました。三根文二元町議も毎回一般質問を行ってきました。日本共産党は、一般質問が活発に行われることを期待しています。

